

# 大学発の起業 支えます

北大・樽商大 15日に拠点開設

北大と小樽商大は15日、大学発の起業を支援する拠点「HX（エイチクロス）」を札幌市北区の北大構内に開設する。専門相談員3人を常駐させ、道内の他大学



15日に開設するHXで、連携を誓う北大の宝金学長（左）と小樽商大の穴沢学長

や経済団体との連携を橋渡しするほか、起業を目指す研究者や学生を対象に無料で交流行事や講義を行う。大学での研究開発を生かした起業で地域産業を活性化

化させ、若手の人材の道外流出を食い止めるのが狙い。これまでも起業で協力してきた他の9大学と4高専、5法人との連携を強化し、自治体や金融機関、商法や税法に詳しい弁護士や税理士などとの橋渡し役も担う。

12日に記者会見した北大の宝金清博学長は「少子高齢化が進み、廃業も増える中、大学発のスタートアップ企業は地域の大きな力になる」と強調した。小樽商大の穴沢真学長は「2004年度に開設したビジネススクールで蓄積したノウハウを生かし、技術的なシーズ(種)を起業に結びつけた」と述べた。(水野宣仁)